

＜PTA全体委員会(12月7日)報告＞

■ 平校長(PTA名誉会長)より学内報告	1
■ 平澤PTA会長より挨拶	3
■ 父母の会 活動報告	4
■ 分科委員会 活動報告	5
L 総務委員会	
L 行事委員会	
L 新聞委員会	
L PTA活動推進委員会	
L 会報委員会	
■ 編集後記	8



平校長(PTA名誉会長)より学内報告(1/2)

麻布学園PTA役員の皆さま、こんにちは。早いもので師走もはや一週間が経ちました。街角の紅葉、特に今年はイチョウの黄葉が素晴らしいですが、振り返ってみると私の学生時代は11月の勤労感謝の日の頃にはイチョウの葉が舞い、12月には裸木になっていたように記憶しています。今年の夏も暑く長かったですが、やはり、これも地球温暖化のせいなのでしょう。

さて、このひと月間の学校の様子をお伝えいたします。

去る11月8日には津久井四町仏教会の主催により相模湖上で施餓鬼会法要が行われました。湖底に沈んだ幾多の魂を慰める法事で、二年に一回本校にも案内が届きます。今年は相模湖遭難事故70周年でもあり校長の私が参列しました。遊覧船が沈んだ地点でお経を唱え、檀家の奥様方の御詠歌のなか、湖面に花束が投じられました。最大の犠牲者を出した本校の生徒らを悼んでのことです。たいへんありがたいことです。

11月16日には行事委員会の主催で麻の葉セミナーが開催され、世代を隔てた本校アメリカンフットボール部OB3名が、アメリカンフットボールで得られた人生経験、さらには麻布の六年間で得られた貴重な経験を語っていただきました。抄録は『PTA会報』に掲載予定です。

11月初旬には国際交流提携校のカナダのショーニガン・レイク・スクールから生徒10名が2名の先生の引率のもと来日・来校し、麻布生およびホームステイ先のご家族とたいへん内容の濃い交流を行いました。いつもいつもホームステイを受け入れてくださるご家族の皆さまには感謝です。

毎年秋に始まる私学助成の拡充を求める父母の会の運動は、9月21日の第二支部(港区)の大会を皮切りに、10月15日の東京都の大会、11月6日の全国の大会をもって今季は終了しました。中学1年生の保護者の方々をはじめ多くの皆さま方のおかげをもちまして近年は私学助成運動の成果が目に見える形で実ってきています。学校長として篤く御礼を申し上げます。その一方、11月9日の保護者会に先立って来年度からの学費値上げの説明会にも300名もの保護者の皆さまにお集まりいただきました。吉原毅理事長が説明し、私が補足する形での説明会となりましたが、いくつか厳しいご意見も頂戴いたしました。

学費値上げに見合う、あるいはそれ以上の教育上の効果を達成できるよう教職員一同、これまで以上にご子息の心身の成長に注力していく覚悟でいます。

平校長(PTA名誉会長)より学内報告(2/2)

11月半ばには2日間にわたって高校3年生の模擬試験が行われました。また、一昨日からは第2学期末試験が行われています。学習の成果をきちんと答案に反映できることを願っています。また、年が明けて、1月18日、19日には大学入学共通テストが行われます。高校3年生はこれからが正念場です。感染症に気をつけて、ベストを尽くしてほしいと願っています。

最後に、本日をもって高校3年生のPTA役員の皆さまはお仕事終了となります。お忙しいなか学園のPTA活動に精力的に取り組んでいただきましたこと、心より感謝を申し上げます。

平澤PTA会長より挨拶

PTA委員のみなさま、保護者のみなさま、教職員のみなさまこんにちは。高2保護者の平澤です。

イベントもりだくさんの二学期でした。保護者懇親会では、クラス委員さんみなさまのご努力により、さまざま趣向を凝らした企画があったようです。保護者同士や先生方と、様々に懇親を深められたと思います。クラス委員のみなさまには心より感謝しています。

2学期も終わり、麻布学園PTAもさまざまな活動が実を結びつつあります。みなさまにはまずご自身とご家族を最優先に考えていただきながら、引き続き麻布学園PTAにおける活動にご理解とご協力をいただけるようお願いいたします。

学園の高3関係者のみなさまはこれまで大変お疲れさまでした。今現在考えているより卒業以降さらに、これまでの学園生活が意義深いものとして生徒みなさまの心に戻ってくると思います。よりたくましくなった生徒みなさまの姿を、在校生一同楽しみにしています。

高2以下の在校生のみなさまと保護者のみなさまは、3学期にまた元気に健康にお会いできるよう願っています。

父母の会 活動報告

9月21日の私学振興拡充第二支部大会に続き、10月15日、「私学振興予算要望期成大会」(於 共立講堂)が開催され、本校からもPTA会長をはじめ7名で参加致しました。この大会は、私立学校教育への公的支援の拡充強化を直接都政に要望する東京都の大会です。

また、11月6日には「私学振興全国大会」(於 文京区シビックセンター)が開催され、本校からは3名で参加致しました。岸田文雄前総理大臣をはじめ、阿部俊子文部科学大臣など多数の国会議員のご来臨を賜り、国に対し私学への経常費助成費補助金の拡充、ICT環境の整備への補助拡充、就学支援金の拡充などを直接要望することができました。

いずれの大会もコロナ禍以前の大会規模に戻り、全国からたくさんの私立学校保護者の方々が参加しています。父母の会は、私学に通う子どもたちのために、学校の枠を超えて活動しております。今後とも私学教育のさらなる充実に向けて活動して参りますので、引き続きご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。



分科委員会 (1/3)

総務委員会 (PTA総会およびPTA全般の活動支援)

12月7日(土)にPTA全体交流会を開催しました。この交流会は、日頃活動している学年や分科委員会の枠を超えて、PTA全体での交流を深めること、また、12月でPTA委員としての活動が終了となる高校3年のPTA委員の皆様への感謝と慰労のために、毎年開催しているものです。

今年度は、多くの方同士で交流できるように、立食形式にして、なるべく懇談の時間を長くとるようにしました。平校長先生をはじめ、PTAご担当の先生方にもご参加いただき、どのテーブルも会話がはずみ、交流の輪が広がりました。会の最後には、平校長先生がサンタクロースに扮して自作のくす玉をプレゼントしていただくというサプライズ演出もあり、盛況のうちに終了となりました。

会の開催にあたりご協力をいただいた皆様はこの場を借りて感謝申し上げます。



写真① クラスごとに分かれて懇談



写真② O×ゲームの様子



写真③ 平サンタ入場!



写真④ 平校長先生お手製のくす玉

分科委員会 (2/3)

行事委員会(文化活動の企画・運営)

11月16日(土)に麻の葉講演会が開催されました。500名弱の応募をいただき、講堂はほど良い距離を保ちつつほぼ満席となりました。今年度は各方面でご活躍中のアメフト部OB 3名にご登壇いただきました。それぞれ世代の異なる3名が、麻布学園で育んだ情熱と経験は、卒業後それぞれの人生、生き方においてどのような影響を与えたのか。登壇者様のそれぞれの個性が溢れながらも、麻布という価値観や感覚の一体感を感じるところが何度もありました。一つのことについてうちこみ、それを極めることの大切さ。そしてそれがどんなことでも、温かに受け入れてくれる場が、麻布にはある。2時間にわたる講演は笑いを交えた温かな雰囲気ですべて終わることができました。



<麻の葉講演会の様子>

新聞委員会(年3回発行の「麻布PTA」編集)

新聞2号は、12月19日の二学期終業式に各クラスへの配布予定となります。二学期は行事も多く、2号メンバー5名が多くの取材や原稿依頼を重ねながら紙面を校正、形にしていきました。素材は、麻布生から頂いた修正なしの原稿であり、1人へのフォーカスではなく麻布生の1814名1814名を色々な側面から被写体として掲載しております。麻布の今を知る機会となりますよう、皆様どうぞ手にとっていただきたいと思います。そして、3号は具体的な準備段階となり、三学期のメイン行事である卒業式も含め、企画、取材をはじめております。どうぞ引き続きお声がけしました際にはご協力のほどよろしくお願いたします。

分科委員会 (2/2)

PTA活動推進委員会 (PTAウェブサイトの管理運営および次期会長候補の選考)

PTAからのお知らせや活動などを麻布学園ホームページ内に順次掲載しておりますので是非ご覧ください。<https://www.azabu-ih.ed.jp/schoolife/pta/information/>

2025年度PTA会長候補者をPTA役員全員による承認を得て決定いたしました。2025年5月に行われるPTA総会にて正式に2025年度PTA会長として就任いたします。

また、2025年度PTA委員募集のチラシ作成やHPのPTA紹介ページの作成を進めています。

会報委員会 (年度末発行の会報誌を編集)

各委員会より活動報告原稿や講演会原稿などを頂き、ありがとうございました。コンテンツは9割方集まったというところで、会報誌作成作業はいよいよ大詰めを迎えております。校正作業やページ調整に追われる毎日で、やや焦りもありますが、完成形がだんだんと見えてくる過程を楽しみながら取り組みたいと思っております。



<PTA全体委員会の様子>

編集後記

今年も残すところ1ヵ月を切りました。

12月7日のPTA全体委員会が、高校3年生のPTA委員の皆様には最後の活動日となりました。保護者の先輩としてさまざまなことを教えてくださった高3保護者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

1年後に自分もいまの高3保護者の皆様と同じように、6年間にわたる学園生活が間もなく終わりを迎えようとしていることに、感慨深さと寂しさをおぼえるのだろうかと思像しています。

我が家は一番下の息子が未だ小学生のため、中学受験情報に触れる機会が多く、最近では、分かりやすい「面倒見の良さ」を備えた学校、規律を重視した学校の人気が高まっていると感じます。麻布学園の、自由なる精神を大切にし真に独立した人格の育成を目指す校風は、ともすると保護者はハラハラヒヤヒヤの連続であり、いまの時流では直ちに理解されづらい部分があるかもしれません。我が家もIT機器との付き合い方、勉強時間の少なさにしばしば頭を抱え、親子で衝突することも多かったですが、一方で、自分のことは自分で決める、自分なりの善悪の判断基準をしっかりと持ち、他人に忖度しない、といった彼自身の「幹」となる部分は、麻布学園の風土でこそ育てられたものと感じます。

来年も、麻布学園の生徒たちが、しっかりと地に足をつけながら麻布生としての誇りを持ち学園生活を謳歌できるよう、そしてそれを学園の先生方とともに支えられるPTAであるよう願っております。

皆様、仕事も家庭も慌ただしいシーズンとは思いますが、飲み過ぎ食べ過ぎ(?)には注意され、よいお年をお迎えくださいますよう、心よりお祈り申し上げます。